

『生徒誰もが喜んで登校したくなる学校』『生徒誰もが喜んで英語を学びたくなる学校』『誰もが喜んで応援したくなる学校』

【教育目標】○自立 (Grow) ○尊重 (Respect) ○創造 (Create)

「よりよく生きる」パラリンピアン 高田朋枝先生に学ぶ 校長 鈴木重樹

1月25日の土曜日授業は、道徳授業地区公開講座、学習発表会作品展覧会もあり、多くの参観者にお出でいただきました。ありがとうございました。



道徳授業地区公開講座では、北京パラリンピック、ゴールボールの日本代表選手として活躍した高田朋枝さんをゲストにお話を聞きました。東京

オリンピック・パラリンピックが2020年に開催されることもあり、生徒たちにとっては、パラリンピアンが身近に感じられる良い機会となりました。

ゴールボールは、目にアイシェードをつけ、鈴入りの固くて重いボールをバウンドさせて投げ、3人对3人でゴールを奪い合う視覚障害者の球技です。DVDを観ると、バレーボールコートスペースで、鈴の音を聞きとり、スピードや方向を判断し、横っ飛びになって守っている姿は、ケガの心配をしてしまうほどの激しいスポーツでした。

このようなゴールボールの日本代表選手として活躍された高田さんですが、穏やかな表情で、会場の皆さんにわかりやすくお話をしてくださいました。

特に、多くの生徒が強く心に残した内容は、「網膜色素変性症が原因で、幼い頃からお母さんに『目が見えなくなるよ』と言われていたので、障害があることに対して大変だとか悲しいとか考えなく、『私は将来見えなくなるんだな』と思っていた」という話でした。

高田さんは、目が見えなくなることを自然と受け入れ、目が見えないことを不幸だと思っていないということでした。しかし、高田さんのご両親や家族は、大変なご心痛だったことでしょう。この話から、高田さんのお母さんの子育てに対する強い思いを感じ、尊敬

の念を抱きました。

その他、生徒が印象深く感じたお話は、「被災地で活動している」、「運動の苦手な子がゴールボールと出会った」、「無常という言葉」、「他人を否定しない」、「あきらめずに努力する」、「視覚障害のある人への声のかけ方」、「緊張を楽しむ」などについてでした。

明るく、誰とでもコミュニケーションのとれる高田さんは、海外留学をするなど大変前向きな方です。6年後の東京パラリンピックでは、大学生となっている皆さんの前で、ゴールボールの役員として、世界を相手に活躍していることでしょう。



作品展覧会



SAMS協議会や保護者の方々の参観もあり、展示会場の小体育館は、大変な賑わいでした。多くの方から、作品の多さとその出来栄えに感嘆の声をいただき、松濤中生一人一人の個性や才能の豊かさを実感できた展覧会となりました。

ご覧になれなかった方々は、ぜひお子さんの戻された作品を通して、その雰囲気を感じ取っていただきたいと思います。

お知らせ

- ◆ 2月14日 (金) 2年職場体験報告会
- ◆ 2月24日 (月) 都立高校一般入試
- ◆ 2月25日 (火) ～27日 (木) 期末考査
- ◆ 3月8日 (土) 土曜授業、**弁当持参**
三年生を送る会、3年国際フットフェア
新入生説明会、保護者会
- ◆ 3月10日 (月) 3年校外学習
- ◆ 3月11日 (火) 3年プラネタリウム見学
- ◆ 3月20日 (木) **卒業式**

学校評価自由記述へのお答え

昨年度末にご協力いただいた学校評価の際、いくつかのご質問などがありました。この紙面をお借りしてお応えしたいと思います。類似したご質問は、まとめて答えさせていただいております。ご了承ください。

1. 学習指導面に関する質問

Q 生徒の学力差が大きい印象がある。教科によりその差も異なり対応が大変だと思う。学級ごとの授業より学力別2～4レベルに分けて生徒が基礎学力を身につけてほしい。

A よい提案ですが、配備される教員数が足りません。英語・理科の少人数や放課後の補習授業などで、工夫しながら対処していきます。

Q ICT機器の利点が理解できない。情報量が多ければよい、速く進められれば良いというのか？生徒対機器と機器の操作や資料、教材作りに主眼が行きがち。

A 生徒の意見などを取り入れながら、有効な使用法を検討してまいります。

Q ICT授業は、子供にとっては見づらく疲れるようなので使用頻度を考えてほしい。

A 工夫していきます。

Q ICT機器は光の具合や座席の位置によってはうすくて見ることができないようだ。カーテンを閉める、座席を移動してもよいなどの配慮をしてほしい。

A 配慮していきたいと思います。

Q 授業のわかりやすさに差があるようだ。生徒アンケートや各先生方の協議で、全教科が楽しくわかりやすく興味深い内容であることを望む。

A わかりやすい授業になるよう努力してまいります。

2. 生活指導に関する質問

Q 今年の運動会は多少しまりがなく、注意する先生が少なく、かなり目立った問題行動をしている生徒がいても誰一人として注意していない。

A 今後このような指摘がないよう安全等に配慮して指導してまいります。

Q 雨天時の部活も晴天時と変わらない内容ができるといい。

A 少しでもできるよう改善していきます。

Q 突然2年生になって、テニス部が廃部になると聞きショックだった。部活動にもっと先生が力を入れてほしいと思う。

A ご要望に応えられず申し訳ありません。男子が少ない本校の場合、多くの部活動を存続させてしまうと人数が分散し、部が成り立たなくなってしまうと思います。ご理解下さい。

Q 部活などで終了時間が遅れることがあったり、急な変更があったりして心配することがある。特に、冬は真っ暗になるので女子の親としては不安がある。

A 部活動については、6時完全下校を実施しております。帰りが遅い場合は、学校にご連絡下さい。

3. 施設・設備に関する質問

Q 校門からグラウンドへ玄関までのアプローチが、数年前に比べて格段に美化が進み快適。玄関フロアは残念。常に薄汚れて清潔感に乏しい。

A 常に清潔に保てるように清掃などを徹底します。

Q 体育館の更衣室、トイレがきれいで明るくなるのを待っている。

A 区には要望は出しているのですが、なかなか実現できません。

Q外国人から、日本の公立校がなぜ刑務所のような暗い造りなのか聞かれる。内装だけでも色を取り入れるなど明るくしてほしい。

A区には、毎年要望はしているのですが、まだ実現できない状態にあります。

4. 教員との関係

Q私自身は先生方に非常に満足しているが、子どもたちは先生の発言・行動に不満が多々あるようだ。

A生徒の声を受け止めながら、指導していきたいと思います。

Qコミュニケーション指導を取り入れ、生徒の意見を多く聞いていただきたい。

Aアンガーマネジメントの研修等を通して、生徒理解を深めていきたいと思います。

Q生徒たちをもっと褒めて育ててほしい。

A心がけてはおりますが、さらに努力してまいります。

5. その他

Q部活などで生徒の対応に問題があったらしく、異動された先生がいたことが残念だった。

A定期的な異動や本人の希望によるものです。

Qマイホームメイドランチは、男子でも興味を持ち、実践可能な内容の方がいい。

A来年度は、ご指摘の点を検討していきます。

Qアンガーマネジメントの授業は、子供たちの心の教育に役立っている。今後、親に対してもぜひ、講座を開いてほしい。

A今年度は7月に実施。来年度も実施予定です。

Q学校内にいるときは良いが、一番の心配は登下校中。公衆電話が少なくなっている今、携帯電話の所持もできないとなると連絡がつかないので困っている。

A携帯を規制していない学校では、授業中・登下校での使用が目立ち、また、犯罪に巻き込まれるような事態に発展しているケースもあります。ご理解いただければと思います。

Q授業よりも受験に対する説明が全くされていないと思う。

A説明は学年、教科単位で行っていますが、さらに機会を設けて説明していきます。

Q渋谷区では専任司書を配置している学校もある。松濤中にも、早く司書を配置して頂きたい。朝読書がないので、読書に親しむ環境を整えていただきたいです。

A区には要望をだしています。

Q二人担任制が導入され、複数の目でクラスの生徒を見ていただけると、子供たちは多面的な指導、考え方を受けられることはとてもよいと思う。できれば、先生方と保護者の情報交換、交流の機会を設けて、二人の考えなど知れたら二人担任制について実感でき、さらに良いと思う。

A保護者会などの機会を増やしたいと思います。

Q土曜日授業のため、高校説明会の日程調整に苦労した。早退扱いになると思うと、やむなく高校説明会を不参加にすることもあった。配慮してほしい。

A事情がある場合は対処しますので、お申し出ください。

Q松濤中学校は、毎年抽選になる人気の学校なので、一学年三クラスにしてほしい。

A区の方針なので、申し訳ありません。

Q娘は帰宅後に習い事があり、委員会や行事の係りの仕事に興味があっても時間がとれないから参加できない。活動時間を工夫して参加できる環境を整えてほしい。

A生徒活動はどうしても放課後になります。参加希望でしたら、担任の相談してください。